



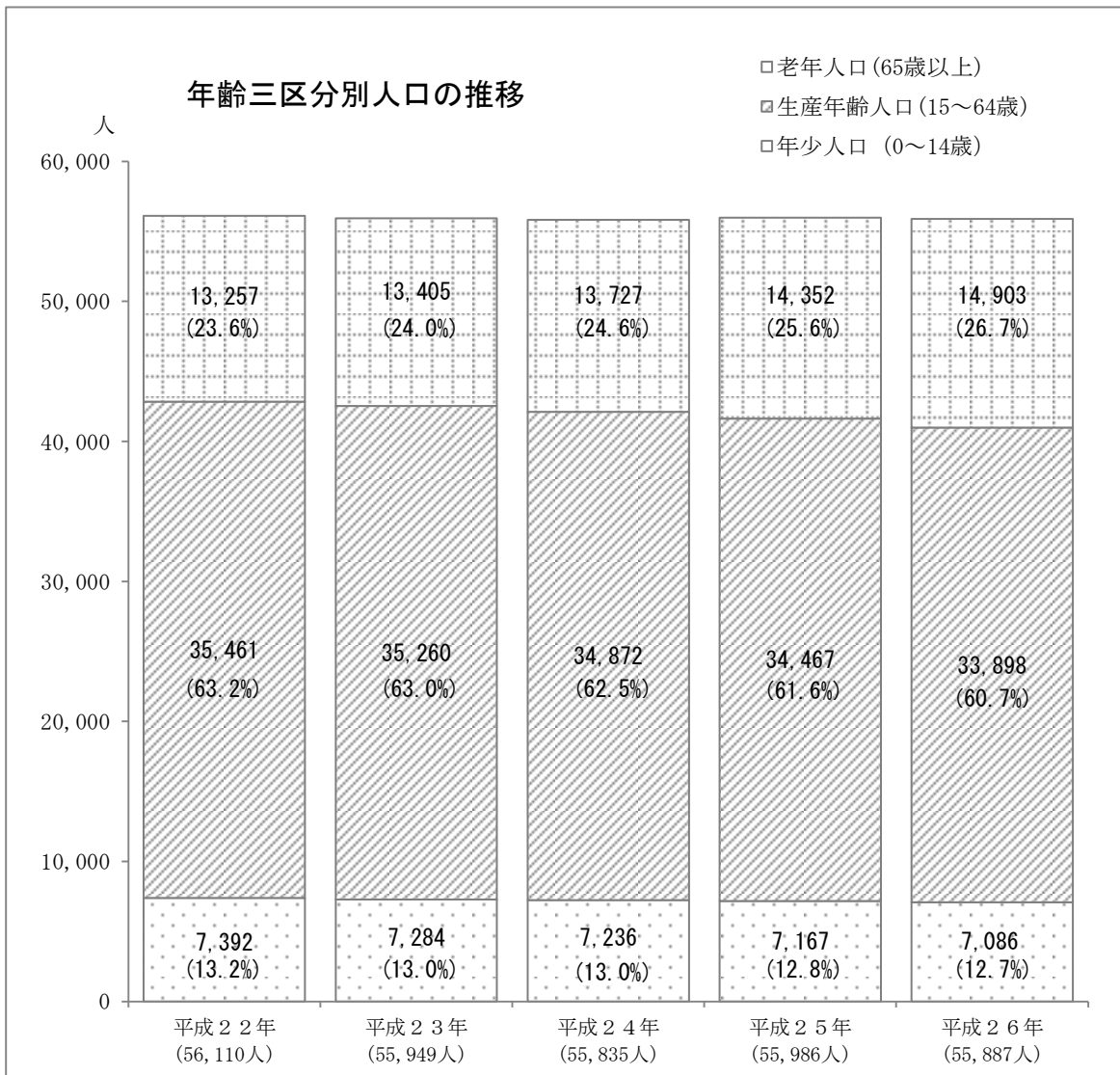
1 人口の動向

(1) 人口の推移と推計

本市の総人口は、平成26年4月1日現在、55,887人です。平成25年にわずかに増加したものの、平成22年に比べ223人減少している状況です。

また、年齢三区分別人口では、平成22年に比べ年少人口及び生産年齢人口は減少傾向、老年人口は増加傾向を示しています。

図-1



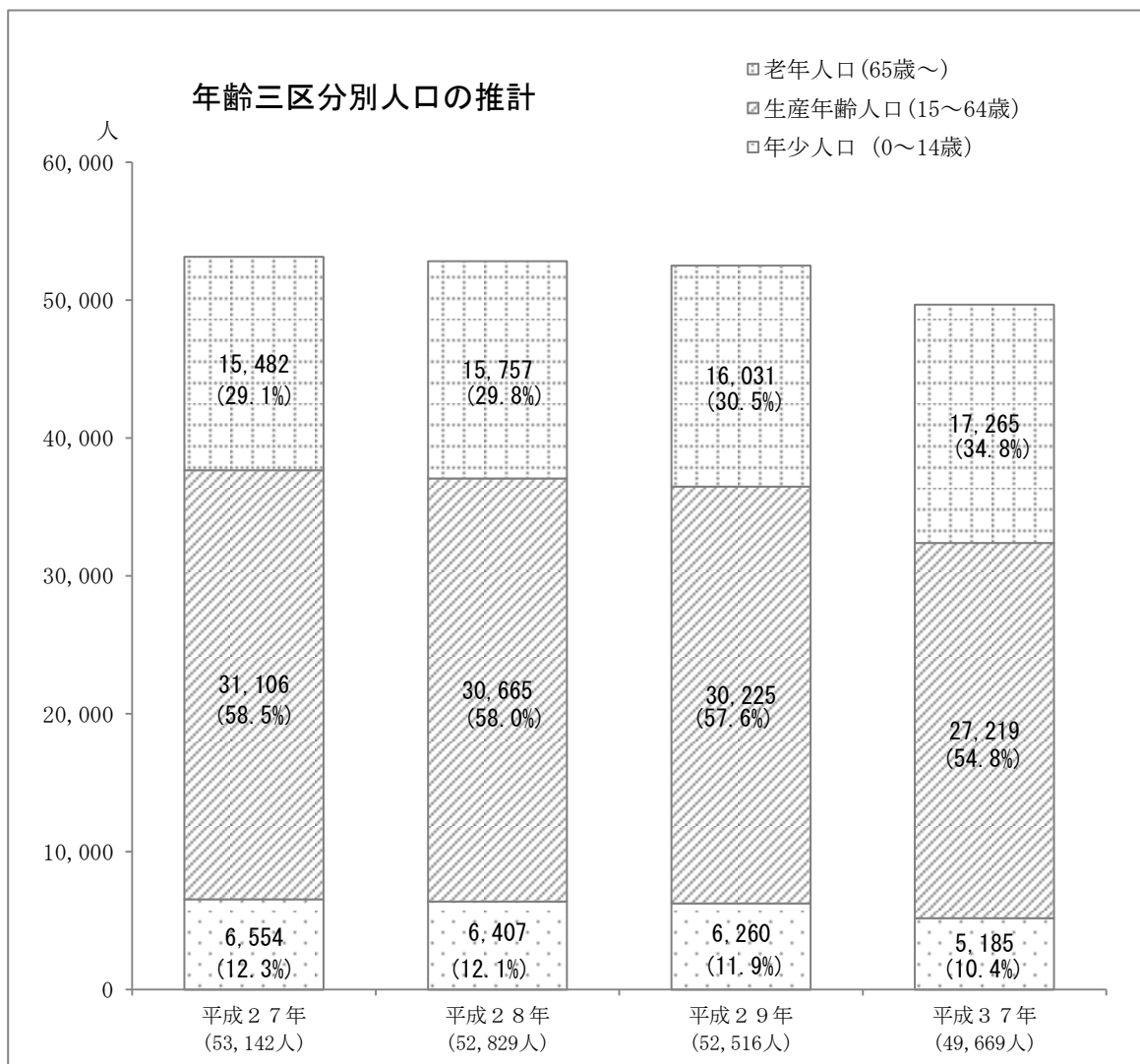
(住民基本台帳：各年4月1日)

平成 26 年以降も本市の総人口は年々減少し、平成 22 年の国勢調査を基に推計すると、平成 29 年が 52,516 人、平成 37 年には 49,669 人になると予測します。

年齢三区分別にみても、年少人口は平成 29 年が 6,260 人、平成 37 年には 5,185 人で、総人口に占める子どもの割合は 10.4%に減少し、さらに少子化が進行するものと予測します。また、生産年齢人口も平成 37 年には 27,219 人となる見込みです。

一方、老年人口は年々増加し、平成 29 年には 16,031 人、平成 37 年には、17,265 人になると見込みます。

図- 2



第6期介護保険ワークシート
 ※国立社会保障・人口問題研究所による
 平成22年の国勢調査を基に推計。



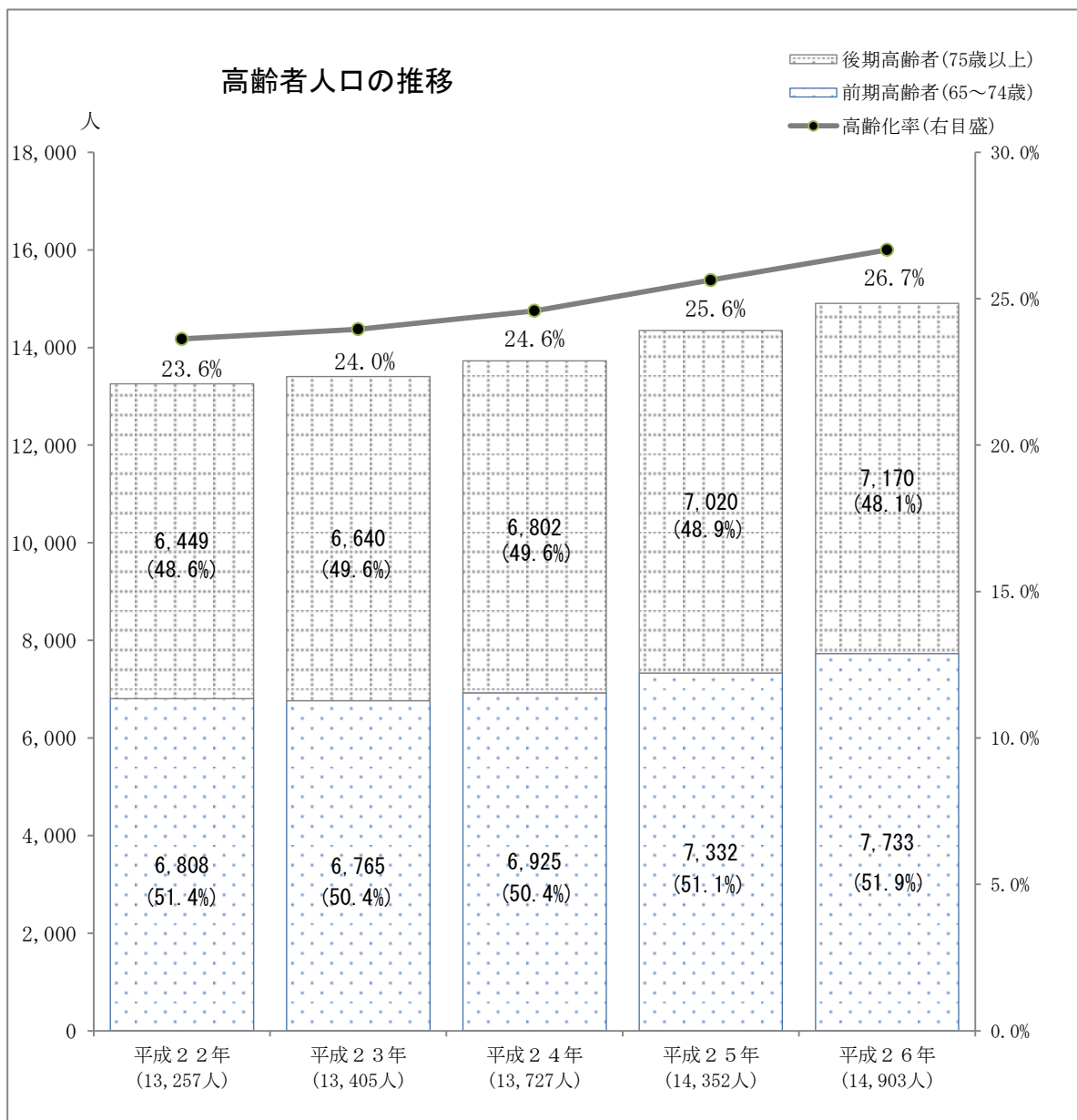
2 高齢者人口の動向

(1) 高齢者人口の推移と推計

本市の高齢者人口は、平成22年には13,257人でしたが、年々増加し続け、平成26年4月1日現在、14,903人です。この5年間で1,646人（増加率12.4%）増加し、高齢化率（65歳以上の高齢者が人口に占める割合）も年々高くなり、平成26年で26.7%となっています。

また、後期高齢者（75歳以上）も平成26年4月1日現在7,170人で、平成22年と比べ721人増加しています。

図-3

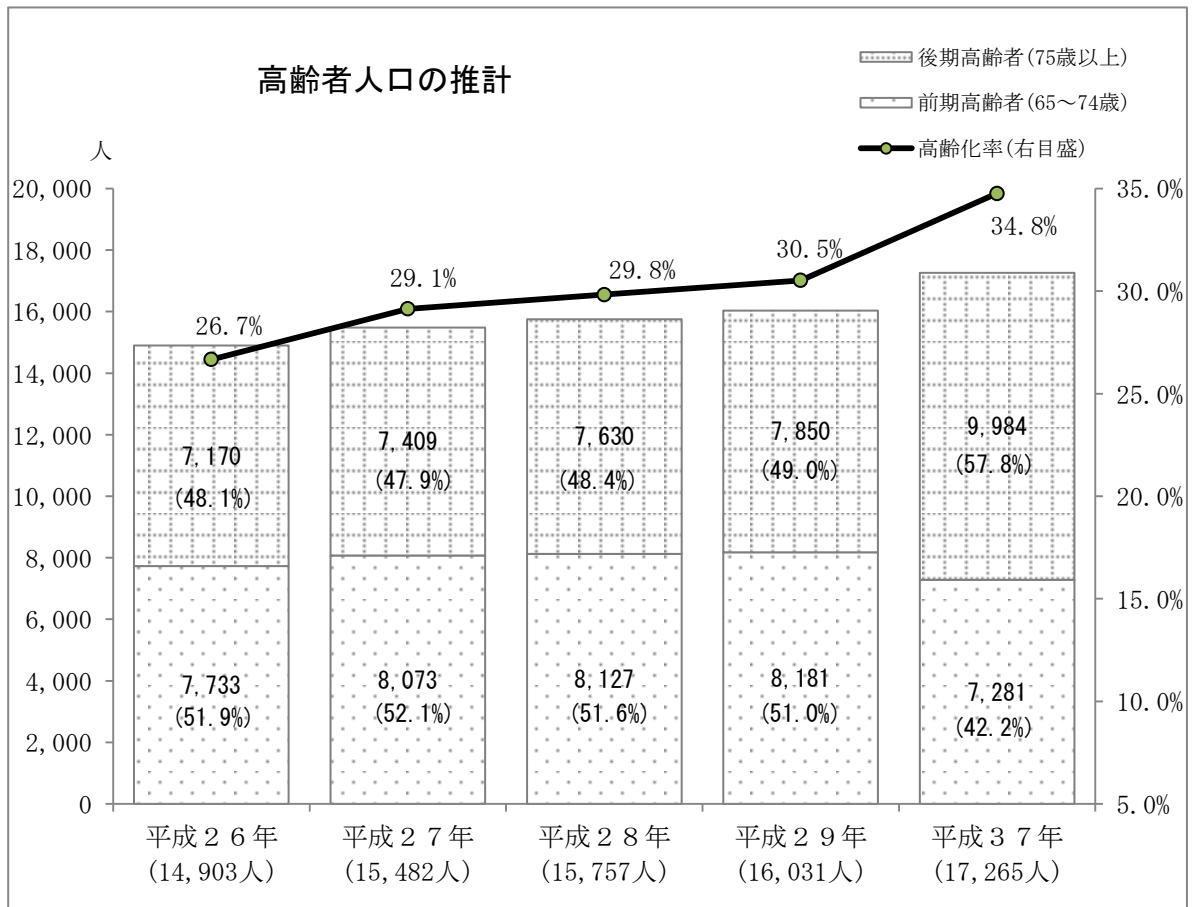


(住民基本台帳：各年4月1日)

平成 26 年以降も高齢者人口は増加の一途をたどり、高齢化率は平成 29 年に 30.5%、平成 37 年には 34.8%で約 3 人に 1 人が高齢者である人口構成になると予測します。

年齢別にみると、前期高齢者（65～74 歳）は、平成 29 年までは微増と予測しますが、平成 37 年には現在より 452 人減少し、7,281 人になると見込みます。一方、要介護認定率の高まる後期高齢者は今後も増え続け、平成 37 年には高齢者全体の約 6 割を占めると予測します。

図- 4



〔平成 26 年＝住民基本台帳：4 月 1 日
平成 27 年以降＝第 6 期介護保険ワークシート〕

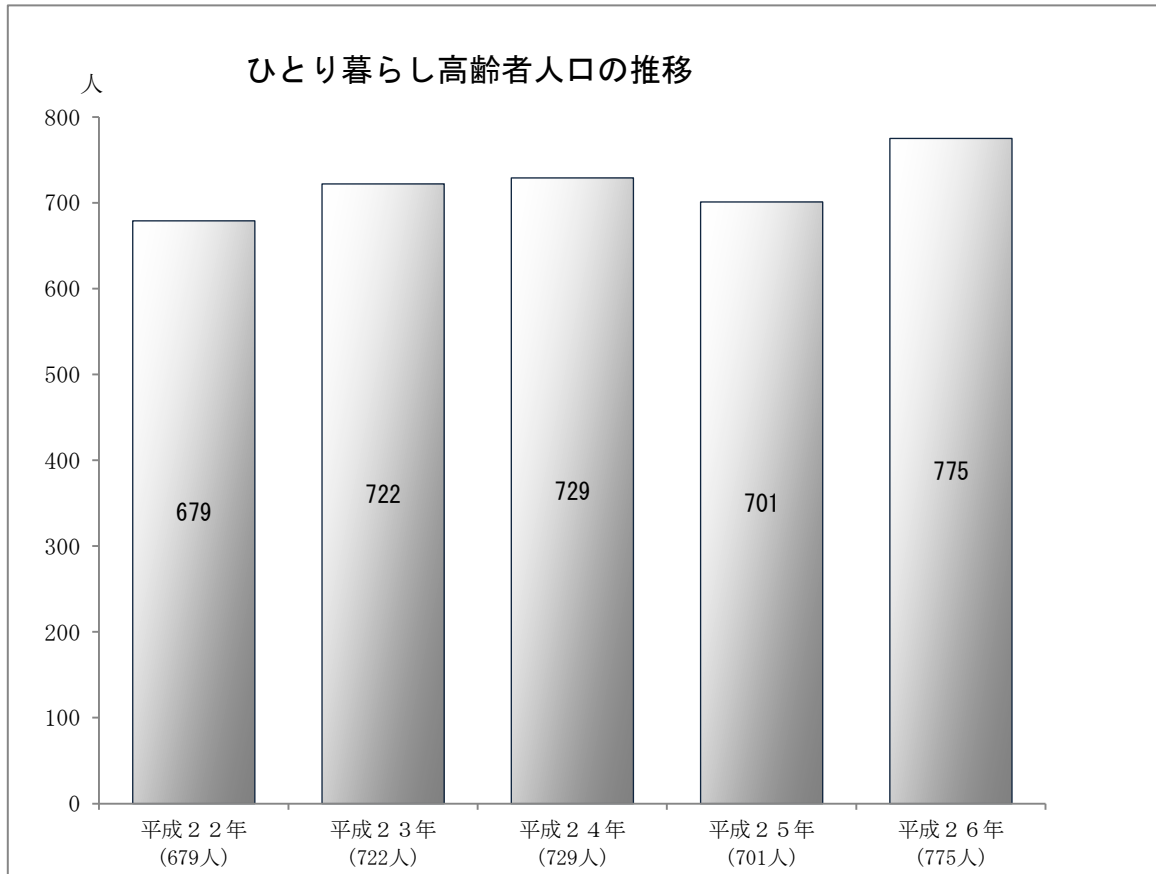




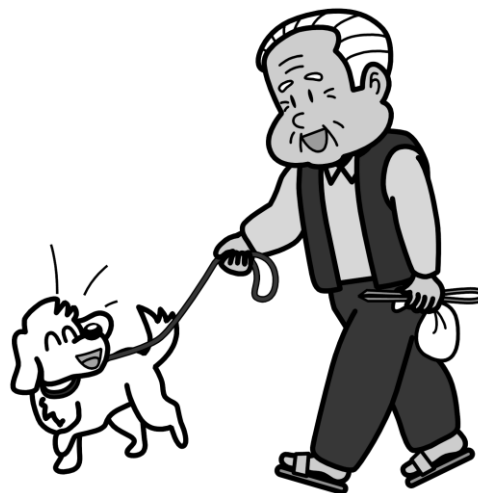
(2) ひとり暮らし高齢者数の推移

ひとり暮らし高齢者数は、平成22年は679人でしたが、平成26年には775人となり、今後も増加すると予測します。

図-5



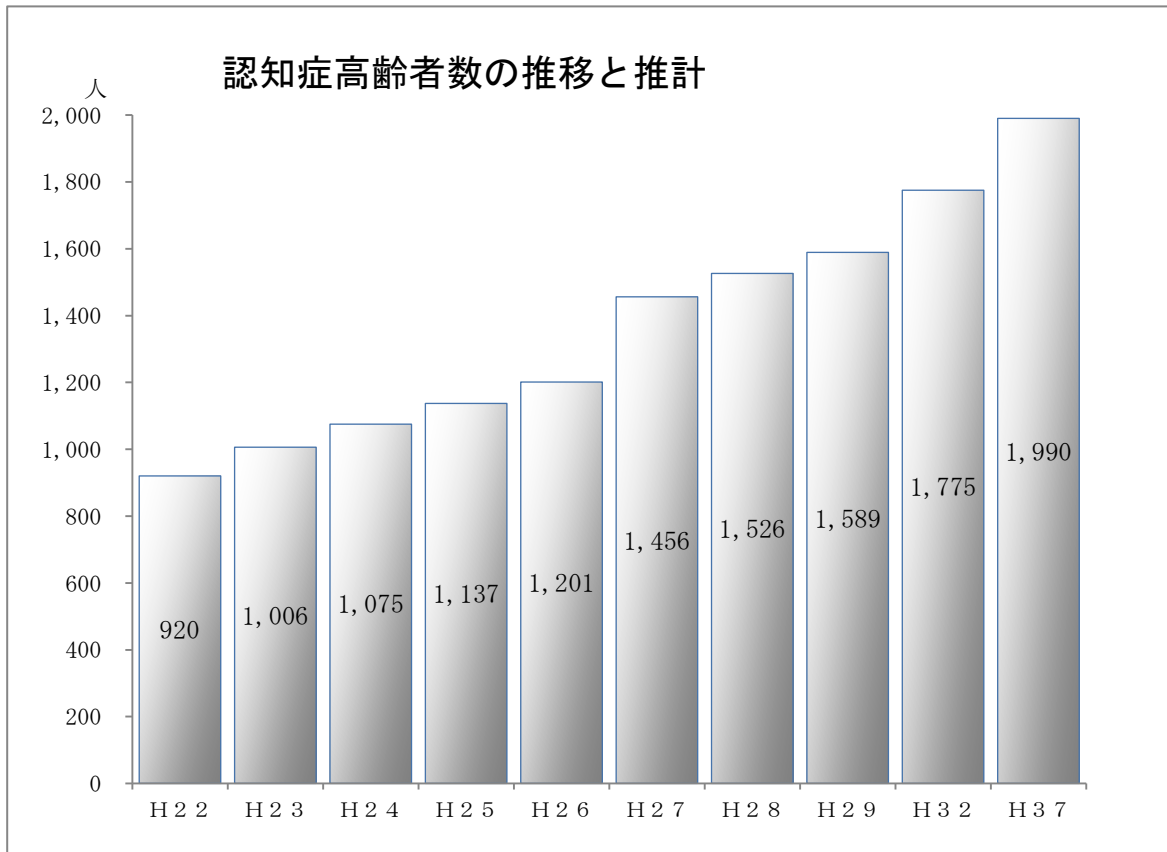
(市介護長寿課 高齢者台帳：各年4月1日)



(3) 認知症高齢者数の推移と推計

認知症高齢者数（認知症日常生活自立度Ⅱ以上）は、平成22年は920人でしたが、平成26年には1,201人となり、4年間で281人増加しました。今後も増加することが予測され、平成37年には1,990人になると見込みます。

図-6



〔平成22～26年＝高齢者実態調査：各年4月1日〕
〔平成27年以降＝第6期介護保険ワークシート〕





3 保健の状況

(1) 平均寿命と死因別死亡状況

那珂市の平均寿命は、男性 80.2 歳、女性 86.8 歳で、全国・茨城県を上回り、男性女性ともに県内第 2 位です。また、65 歳未満の死亡率は、男性 14.4%、女性 8.2%で、男性女性ともに全国・茨城県を大きく下回っています。

死因別死亡率をみると、がん、心疾患、脳血管疾患の順に多く、全国・茨城県と同様の傾向ですが、心疾患・脳血管疾患については、全国・茨城県より多い状況です。

表- 1

項目		全 国		茨城県		那珂市	
平均寿命 ※1	男性	79.64 歳		79.09 歳		80.2 歳	
	女性	86.39 歳		85.83 歳		86.8 歳	
65 歳未 満死亡率 ※2	男性	18.6%		19.6%		14.4%	
	女性	10.0%		10.1%		8.2%	
死因別 死亡率 ※3		原因	10 万人対	原因	10 万人対	原因	10 万人対
	1 位	がん	279.7	がん	275.2	がん	232.9
	2 位	心疾患	149.7	心疾患	150.1	心疾患	162.7
	3 位	脳血管 疾患	97.7	脳血管 疾患	114.1	脳血管 疾患	116.5

※1 簡易生命表 (H22)
 ※2 厚生労働省人口動態統計 (H22)
 茨城県常住人口調査 (H22)
 ※3 厚生労働省人口動態統計 (H22)
 茨城県人口動態統計 (H22)





(2) 要介護認定者の生活習慣病受診者数

要介護（支援）認定者のうち、生活習慣病で受診した 730 人に着目してみると、そのうち 331 人（45.3%）のかたが脳血管疾患で、そのほとんどが脳梗塞を原因としており、国保特定健診などにより高血圧・脂質異常症・糖尿病の予防に取り組み、脳梗塞を減らすことが、介護予防対策として重要です。

要介護（支援）認定を受けている者のうち
生活習慣病で受診した人数

(単位：人) 表- 2

	第1号被保険者						第2号被保険者		計
	65歳以上 75歳未満		75歳以上 85歳未満		85歳以上		65歳未満		
	男	女	男	女	男	女	男	女	
脳血管疾患	24	19	49	66	38	110	16	9	331
脳梗塞	19	15	44	63	36	106	12	4	299
脳出血	4	4	4	3	1	3	3	1	23
脳梗塞 + 脳出血	1	0	1	0	1	1	1	4	9
高血圧	33	32	65	117	78	220	19	16	580
脂質異常症	26	30	37	75	30	128	11	11	348
糖尿病	23	22	34	57	49	79	15	8	287
高尿酸血症	10	6	18	11	14	37	3	0	99
虚血性心疾患	19	12	26	33	39	95	4	4	232

(国保データベース 平成 26 年 5 月診療分)



4 介護保険被保険者の状況

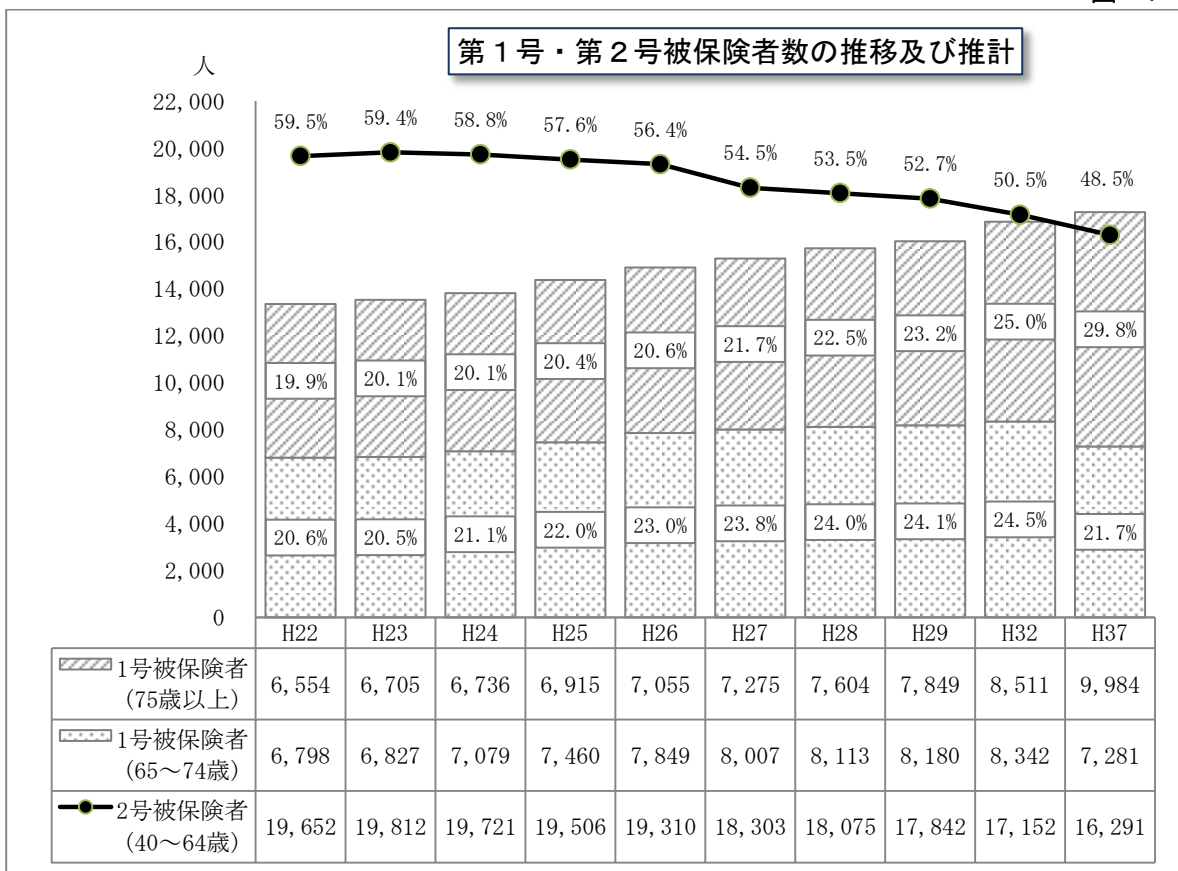
(1) 介護保険被保険者数の推移と推計

平成 26 年 9 月末現在、第 1 号被保険者数は年々増加し、14,904 人（75 歳以上 7,055 人、75 歳未満 7,849 人）、第 2 号被保険者数は横ばいで 19,310 人です。

今後も第 1 号被保険者数は増加、第 2 号被保険者数は減少すると見込みます。

75 歳以上の第 1 号被保険者数は、平成 29 年までは 75 歳未満の第 1 号被保険者数を下回っていますが、平成 32 年以降はその数が逆転し、平成 37 年には 9,984 人になると予測します。

図- 7



〔平成 22～26 年＝介護保険月報（各年度 9 月 30 日）
平成 27～37 年＝第 6 期介護保険ワークシート〕



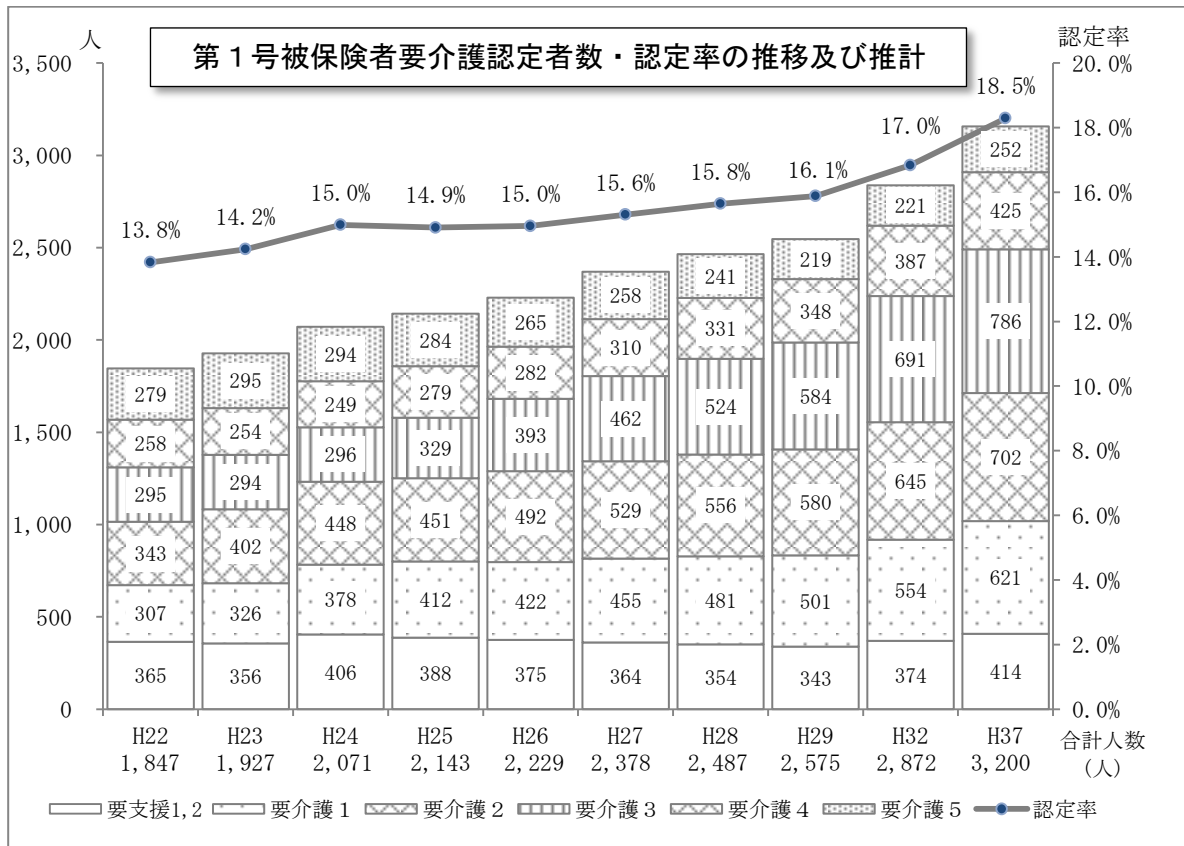
(2) 要介護認定者数の推移と推計

第1号被保険者の要介護認定者数は、平成26年9月現在2,229人で、平成22年と比較すると382人増加しています。今後も75歳以上の高齢者数が増えることから、平成29年に2,575人、平成37年には3,200人と見込みます。

要介護の認定率も現在の15.0%から年々上昇し、平成37年には18.5%になると予測します。

また、介護度別にみると、要介護3以上の認定者数は現在940人ですが、平成37年には平成26年より50%以上増加し1,463人になると予測します。

図-8



〔平成22～26年＝介護保険月報（各年度9月30日）
平成27～37年＝第6期介護保険ワークシート〕





5 日常生活圏域ニーズ調査

(1) 調査の目的

高齢者の身体機能の状況、閉じこもり、認知症などのリスク要因や世帯状況など、地域の高齢者の状況を把握することを目的として、日常生活圏域ごとに地域が抱える課題に対応したサービスや事業の目標設定、ニーズの把握、分析を行うために実施しました。

(2) 調査の概要及び結果

- ① 調査対象者 市内在住の65歳以上のかた 3,000人
- ② 調査方法 郵送による配布・回収
- ③ 調査期間 平成26年5月1日～5月16日
- ④ 調査項目 全72項目
 - 1 家族や生活状況について
 - 2 運動・閉じこもりについて
 - 3 転倒について
 - 4 口腔・栄養について
 - 5 物忘れについて
 - 6 日常生活について
 - 7 社会参加について
 - 8 健康について

⑤ 調査結果

表-3

区 分	配布数	有効回答数	回答率
市 全 体	3,000	2,059	68.6%
北 部 圏 域 (神崎・額田・菅谷)	1,382	975	70.5%
南 部 圏 域 (福田・五台・芳野)	864	582	67.4%
西 部 圏 域 (戸多・木崎・瓜連)	754	502	66.6%